

## 二月〇日一時発着 ホトナカニ協力会

# 増員や処遇改善など求め 11・6 階層別該当者交渉を実施

国土交通労働組合東海建設支部は二月六日、青年や女性、ベテランなど各階層の仲間が参加して該当者交渉（階層別）を実施。四月期要求実現に向けて取り組みの火付けを切りました。予備費での発注や補正発注のタマ出しなどで多忙ななか、交渉には都合をやりくりして二〇名が参加。担当階層の増員や宿舍・寮の確保、女性やベテランの昇任・登用、職務への組織的な対応などを求めました。

### 当局の考え職場に示せ

交渉の冒頭、「職員の方々の生の声を聞く場であり、回答や約束などはできない」との態度を示す当局に対し、青山書記長から「当局の考え方が職場に伝わることが大事。誠意ある回答を求める」と指摘したうえで、各参加者から四月期要求実現に向け発言をぶつけました。

### 非常に多忙 増員を

■沼津（工務）三勝又さん  
身上書の面談でも話しているが、人事要求がかなうよう求める。工務三と調査は担当人数が比較的多いが、それでも慢性的な長時間勤務の状況。ぜひ増員をお願いしたい。

■静岡（交対）森嶋さん  
経理課の係長が今月末で退職する。契約を担当しており年度末に向け多忙になる。速やかに後補充を。



静岡分会 森嶋さん

### 育休等職員への配慮を

■静岡（工務）小林さん  
育休中などで普段職場にいない人は面談で要求を伝えにくい。配慮が必要。育休中の高橋さんは職務への意欲が高い。本局勤務の夫と同居できるような希望配転の実現を。

■名国（経理）笠根さん  
第一出張所の安江さんは、育休中の妻の本務地が飯田。男女共同参画や子育て支援など当然の権利。名古屋市内への異動実現を。

■三重（工務）山下さん  
自身は四月から事務所係長だが、事務所には同年女性主任技官が二名いる。一人は昇任希望したが実現せず。残留、もう一人は結婚から主任のまま出戻り。家庭との調和で限られた時間のなか、意



浜松分会 喜畑さん

### 女性の昇任・登用を

（笠根さんのつづき）各名の出張所係長二三名のうち八名が女性。そのうち七名が三八才から四一才。男性なら事務所の局の係長。男女共同参画の規範を示す手立てを求める。



静岡分会 小林さん



三重分会 山下さん

業務量に見合う増員せよ（山下さんのつづき）通常業務や地元調整だけでも大変ななか、三重河川の当初予算五億円に対し、予備費が一億五千万円に増え、技術系幹部と意思疎通し、事務所の実態を直視してほしい。業務量に見合う増員を求める。



岐阜国分会 大坪さん

■岐阜国（工務）大坪さん  
とにかく増員を。昔から不夜城といわれるがひどい状況。工務課は五〇余の本官工事を抱えながら担当者は四名。管理一課は三名いた担当者が現在一名。出張所の係長の昇任で対応も、現場窓口をおろそかにできない。

### 宿舍・寮を確保せよ

（大坪さんのつづき）豊野寮が新たに削減対象とされた。防災体制上問題。民間アパートを借りるにも二〇〇〇円配転では税金・礼金も大きな負担。人事で処遇改善はかれ

### 中枝（環境）山下さん

この四月で退職二年前となる宇野さんの交代（世など通勤可能職場か内部での管理職昇任と五級の即時発令を求める。技術情報管理官が不在のなか建設技術フェアの準備を切り盛り。長く職場に貢献してきたのに専門職でたらい回し。四級でやめさせてよいのか。回交回器を履行せよ。再任用二年目を迎える前田さんと今年度で退職する井口さん。生活との調和はかけられる再任用を求める。



中枝分会 山下さん

### 岐阜（工務）杉山さん

青年を一年や二年で二〇〇〇円配転する。管理課の永縄さんはポンプ施設の更新に携わりたいと意欲を持ち、今の職場・職務を希望。総務課・中井さんと環境課・野村さん



岐阜分会 杉山さん

### 青年の要求に答えよ

■本局（道徳）西さん  
向陽荘に住んでいるが廃止されること。七五%の入居率なのになぜか。費の確保をどうしていいのか。若手化して構築物の維持修繕の必要性・重要性は明白。増員を求める。

### 本局（企画）炭塚さん

担当階層が少ないなか、一年での配転が目立つ。地盤の大事な任務である防災。中部圏戦略会議で決められた方針の具体化やフォローで業務は多いが、防災課でも担当者が増減されるのではないかと危惧。隣の廃止の敷地等が、共益費も含め養生の負担は重い。どうしていいのか。

■本局（道路）長谷川さん  
担当者が少なく一人ひとりにかかる負担は大きい。事務所が特に大変。数年前には三〇四名だったが一人名に減り。体制として限界。出張所係長の多くが事務所併任で、担当者の時と同じ積算業務をさせられている。現場での知識・経験を積みめないことは問題。

■本局（道徳）石野さん  
道路工事課には担当者が六名。多いと観られ削減されるのではないかと危惧。本官工事の審査は、一人ひとりが多くの本数を受け持ち、九時や十時までの残業。休日出勤が当たり前の状況。

### 青年、女性、ベテラン、行(二)の課題を追及



該当者交渉に参加する東海建設支部のみなさん

## 実現しよう！ 四月期要求



■三重（工務）村田さん  
運タムへの配転を一貫して希望している。ダム管理への熱い思いがある。実現を。担当者が少ないうえ、新規採用抑制で将来展望がない。仕事の質・量ともに厳しく、組織的な限界を感じる。改善を求める。

■三重（工務）中山さん  
人員不足のなか、予備費や補正への対応大変。来年度になると発注方式が変わるからと今年度発注。担当者二名では足りなげない業務量。若手職員が少ない。早々に本局へ異動となる。事務所の担当者も減るばかりで不在のところも複数ある。多忙で先輩の技術を吸収できない。技術系の幹部と意思疎通し、新規の確保を求める。

■三重（工務）山下さん  
宿舎・寮の廃止は、防災官庁としての初動体制に問題。寮住まいの担当者に負うところ大きい。宿舎使用料の引き上げは、資金が下がり続けるなかで厳しい打ち。どう生活していくのか。生活実態を直視して欲しい。

### 仕事への組織的対応、生活調和・処遇改善を求める

して、若い職員がどなたも職場を去っていくのは、質・量ともに重すぎる責任が個人に押しつけられているためと指摘し、組織的な対応を求めました。加えて、賃金・労働条件が切り下げ続けられるなか、四月期人事での生活調和と処遇改善の実現を迫りました。最後に青山書記長から、「回答では不十分結果を観る。まずは北勢の監督官や静岡の係長など年度途中の退職者や、育休者の後補充人事だ」と指摘し交渉を終えました。



対応する当局（左から）  
厚生課長、調査官、人事課長